

施設用途

児童交流施設

施設名

北大井地区児童・地域交流施設



DATA

竣工	平成22年3月
構造	木造
主な使用樹種	カラマツ・スギ

階数	1階
建築面積	346.45m ²
延べ床面積	339.52m ²
全体木材使用量	106.20m ³
県産材利用量	83.91m ³
CO ₂ 固定量	64.8t-CO ₂

小諸産のカラマツをふんだんに使った、木の香りたっぷりの児童館

浅間山の南麓、小諸市の北東部に位置する

北大井地区に設置した児童・地域交流施設です。

この施設の建設にあたっての特徴は、地元古牧財産区が

子どもたちのために育ててきた木材を利用し、子どもたちも木の伐採体験もし、

その木を実際に柱として使用しました。

毎日、子どもたちの楽しい声が響いています。



体育館

天井を囲わず、木の梁を見せています。子どもたちは、元気いっぱい体を動かしています。



図書学習室

優しい木の温もりで落ち着いた環境の中、子どもたちが、読書や勉強に励んでいます。

施設用途

中学校部室棟

施設名

川上中学校 部室棟



佐久

地元のカラマツをふんだんに使った、 川上中学校 部室棟

平成21年3月に、地元産のカラマツをふんだんに使用した木造の川上中学校が完成した。

この校舎に隣接し、同じく地元カラマツを使用した部室棟を建設した。

川上村は、かつて林業で栄えた村という歴史を学び、木のぬくもりや香りを感じて、木の良さを知ってもらう。

DATA

竣工	平成22年3月
構造	木造
主な使用樹種	カラマツ

階数	1階
建築面積	76.6m ²
延べ床面積	76.6m ²
全体木材使用量	13.5m ³
県産材利用量	10.2m ³
CO ₂ 固定量	8.2t-CO ₂



部室棟 軒下

森林資源の重要性と活用性を総合学習における現物の教材として、生徒だけでなく大人たちも「生きた自然」を学べる。



部室棟 天井

木のぬくもりや香りを感じられるように、敢えて天井裏は見せるようにした。カラマツは、年数が経つほど、赤みを帯びて風合いが増してくる。



地元のカラマツを使った、 木のぬくもりを感じられる障害者施設

「就労継続支援B型」と、地域の特性や利用者の状況に応じ柔軟な事業を提供する「地域活動支援センター」を中心に、障害の種類や年齢・性別等にかかわらず、住み慣れた地域や家庭で共に暮らし続けるための施設です。地元以南牧村だけでなく近隣町村の方々にも利用されています。

DATA

竣工	平成22年11月
構造	木造
主な使用樹種	カラマツ

階数	1階
建築面積	276.08m ²
延べ床面積	227.18m ²
全体木材使用量	78.22m ³
県産材利用量	71.25m ³
CO ₂ 固定量	47.7t-CO ₂



共同作業室

柱や梁、フローリングにカラマツを使用した作業室です。生産活動を中心とした福祉サービスを提供しています。



地域活動支援センター

余暇支援を中心とした福祉サービスを提供する場所として利用しています。



大沢財産区有林のカラマツ・ヒノキを使った、 自然豊かな交流体験施設

上信越自動車道佐久平ICより国道141号線を清里方面へ南下し、大沢下町信号より西へ5kmいくと、左側に見えてくる木造の施設が「大沢森の分教場」です。

地元大沢財産区の森林整備拠点であり、また交流の場として親しまれ多くの方々に利用されています。

DATA

竣工	平成22年12月
構造	木造
主な使用樹種	カラマツ・ヒノキ・アカマツ
階数	1階
建築面積	190.46m ²
延べ床面積	190.46m ²
全体木材使用量	68m ³
県産材利用量	83.82m ³
CO ₂ 固定量	41.5t-CO ₂



広く設けられた第1研修室

内壁、外壁、天井、柱はすべて区有林のカラマツ・ヒノキ・アカマツが使用され、ぬくもりある室内となっています。また、暖房器具として薪ストーブが設置されています。



交流広まる調理研修室

広い調理研修室を完備し、利用者の交流が図られています。

施設用途
保育所

施設名

小諸市立東保育園



DATA

竣工	平成23年2月
構造	木造
主な使用樹種	カラマツ・スギ

階数	1階
建築面積	983.79m ²
延べ床面積	860.38m ²
全体木材使用量	228.59m ³
県産材利用量	227.77m ³
CO ₂ 固定量	139.4t-CO ₂

県産材をふんだんに使った、温もりのある保育園

浅間南麓の小諸市の北東部に位置する市立保育園です。

老朽化による建て替えを県産材を利用した木造施設とすることにより、

環境に配慮するとともに木の優れた特質である

「断熱効果」「やわらかさ」「温かさ」といった効果を期待して建設しました。

定員は100人で、市内の市立保育園では2番目に大きな保育園です。



保育室

木の温もりを感じる保育室となっています。0歳児から5歳児の子どもさんをお預かりしています。地元産の食材を極力使用する地産地消の取り組みを大切に給食を作っています。



廊下及び保育室

木製ロッカーが可動式になっており、園児数により各保育室の大きさを変更できるようになっています。また、各保育室の扉を開放することにより、廊下と一体化することができ大きな空間として使用できるようにもなっています。

設計会社 〒384-0012 長野県小諸市南町2-3-13
(有)布矢建築事務所 TEL 0267-22-0798

施工会社 384-0808 長野県小諸市大字御影新田447-1
堀越建設(株) TEL 0267-23-4092



県産材をふんだんに使った、やさしい雰囲気の 障がい者福祉施設

国道141号から国道299号に入り十石峠に向かっていくと、右側に、仲良く並んだ2つの建物が目に入ってきます。それは、平成23年3月に開所した、障害者福祉施設「陽だまりの家」です。40人の定員で、地元佐久穂町中心の障がいのある方々の就労・生活支援の場として利用されています。

DATA

竣工	平成23年3月
構造	木造
主な使用樹種	唐松(集成)材 ほか
階数	1階
建築面積	611.35m ²
延べ床面積	562.69m ²
全体木材使用量	127.68m ³
県産材利用量	127.68m ³
CO ₂ 固定量	77.9t-CO ₂



食堂を兼ねるコミュニティスペース

南東に面した明るい雰囲気の食堂。ここでは地域の皆さん、ボランティアさんと障がいのある方との交流の場ともなっており、障がい理解の促進、地域に開かれた施設になっています。



間伐材利用の薪ストーブ設置

町有林などのカラマツの間伐材を燃料とした、薪ストーブを玄関に設置して冬場は温かい炎がお客様をお迎えます。薪は、自主製品として一般の方へも販売し、利用者の工賃につながっています。

施設用途

休憩所

施設名

平成の森公園休憩所



DATA

竣工	平成25年3月
構造	木造
主な使用樹種	カラマツ

階数	1階
建築面積	158.99m ²
延べ床面積	158.99m ²
全体木材使用量	38.00m ³
県産材利用量	27.86m ³
CO ₂ 固定量	23.1t-CO ₂

長野県産のからまつ材を使用し、木のぬくもりあふれる施設です

浅間サンライン「南ヶ原入口」の信号から東へ道なりに向かうと、
36ホール全長1,554mの「平成の森マレットゴルフ場」があります。

年間延べ7,000人が利用する、市内で最も人気の高いマレットゴルフ場に
「平成の森公園休憩所」があります。

長野県産のからまつ材をふんだんに使用し、
木のぬくもりを感じられる施設です。



広い休憩所内で食事が可能です

休憩所内は机・椅子があり、持込で食事ができます。(ごみは持ち帰る。)市が主催するマレットゴルフ大会では、閉会式会場としても使用しています。



AED・掲示板を設置しています

万一に備えてAEDを設置しています。また、掲示板を設置しており、利用者に様々な情報提供をしています。



立科町町有林のカラマツをふんだんに使った遊戯室

立科町役場から国道142号を横断して県道40号を小諸方面に向かっていくと、左側に平成25年3月に竣工した「たてしな保育園」があります。

この保育園は、町内3園あった保育園を統合し、更なる保育の充実を図り、子育て支援の拠点とするものです。

園歌はシンガーソングライターの松任谷由実さんが作詞作曲し、とても夢のある歌です。

DATA

竣工	平成24年3月
構造	木造
主な使用樹種	カラマツ

階数	1階
建築面積	1,856.95m ²
延べ床面積	1,629.00m ²
全体木材使用量	330m ³
県産材利用量	310m ³
CO ₂ 固定量	201t-CO ₂



木の温かみを感じる保育室

太陽光発電や雨水利用など環境に配慮し、子どもたちが伸び伸びと活動し健やかに成長するよう願いを込めた、清々しい木の香りと温かみを感じる保育室です。



南に蓼科山、北に浅間山を望め、 田園風景に合った広々とした園舎

北に浅間山、南に蓼科山が望める田園地帯に建設された園舎は、全体を曲線勾配屋根にし、周辺への同化を図ると同時に子どもたちに夢を与えるとながり帽子の時計台がシンボルです。

施設用途

院内保育所

施設名

コココの家（佐久総合病院
佐久医療センター 院内保育所）

川上村の天然カラマツを使用した、 温かみのある院内保育所

平成26年3月に開園した、佐久医療センターに併設されている
院内保育所「コココの家」です。

川上村産の天然カラマツをふんだんに使用し建てられました。

30名の定員で、職員が安心して子供を預けられる施設になっています。

DATA

竣工	平成26年3月
構造	木造
主な使用樹種	カラマツ
階数	1階
建築面積	366.02m ²
延べ床面積	284.66m ²
全体木材使用量	76.1930m ³
県産材利用量	71.3187m ³
CO ₂ 固定量	0.2505m ³ /m ² (延べ床1㎡当たりの量)



イベント等に使用される多目的スペース

行事などのイベント以外にも、天気が悪い日に園児が遊べるような広いスペースになっています。



木の温もりが感じられる教室

つぼみ・たんぼぼ・すみれの3クラスで構成され、0歳から3歳までの園児が、木の温もりを感じながら元気に過ごす教室になっています。

施設用途

学校・教育関連施設

施設名

青木小学校図工準備室



県産材を活用した図工準備室

当施設は、青木村立青木小学校の図工施設の横に建設し、小学校の全児童に対して教材の保管や器具の収納として活用されています。使用木材は全て県産材を活用した施設となっています。

DATA

竣工	平成21年6月
構造	木造
主な使用樹種	スギ・ヒノキ・アカマツ (梁・桁：アカマツ材) (柱等：ヒノキ材) (内外装材等：ヒノキ材)
階数	1階
建築面積	34m ²
延べ床面積	34m ²
全体木材使用量	6.8m ³
県産材利用量	6.8m ³
CO ₂ 固定量	4.1t-CO ₂



図工準備室内 室内にはヒノキの香りが漂っており、木のぬくもりとともに子供達を癒やします。

施設用途

医療・社会福祉関連施設

施設名

東御市立助産所とうみ



テラス越しに各個室へ 陽の光が差し込む構造

当施設は、「自然分娩中心の『安心・安全なお産』」をコンセプトにしており、県産材を使用することで、より本助産所の特徴が活かされています。「自然の大切さ」「木材の温もり」を母子をはじめ多くの利用者に体験していただき、県産材に対する関心を高めていただける施設となっています。

DATA

竣工	平成22年3月
構造	木造
主な使用樹種	カラマツ (桁、梁等構造材：カラマツ構造用集成材) (造作材：杉) (壁板、床材等：白樺等)
階数	2階
建築面積	562m ²
延べ床面積	562m ²
全体木材使用量	131.65m ³
県産材利用量	93.78m ³
CO ₂ 固定量	80.3t-CO ₂



吹抜けのホール・待合室(上)
カラマツは年々赤味を帯びてきています。
建築中のカラマツ集成材(右)
構造上部材が見えないのが残念です。



施設用途

学校・教育関連施設

施設名

青木村歴史文化資料館



県産材を活用し木の香る 重厚な木造施設

当施設は、青木村のほぼ中心に位置し、村図書館に隣接して建築され、青木村に古くから伝わる歴史と文化に深くふれるため建設されました。森林の豊かな青木村をイメージした木材を多用した木造公共施設となっています。

DATA

竣工	平成22年3月
構造	木造
主な使用樹種	カラマツ (桁、梁等構造材：カラマツ構造用集成材) (壁板、床材等：カラマツ無垢材)
階数	1階
建築面積	299m ²
延べ床面積	273m ²
全体木材使用量	81.5m ³
県産材利用量	71.32m ³
CO ₂ 固定量	49.7t-CO ₂



展示室内部

内部の腰板等はカラマツ無垢材を使用しました。



天井部分

梁・桁等の構造材を見せるようにしました。



県産材を活用した展示施設

青木村の殿戸地区は、上田市に隣接し、
集落内には県宝に指定されている(本殿)

日吉神社の立地に建立されています。

当施設は地域の歴史に深くふれるための展示施設と
村内外の憩いの場として活用されています。

DATA

竣工	平成22年3月
構造	木造2階
主な使用樹種	カラマツ (梁・桁：カラマツ構造用集成材使用) (壁板、床材等：カラマツ無垢材使用) (下地材：スギ材使用)
階数	2階
建築面積	54m ²
延べ床面積	68m ²
全体木材使用量	21.62m ³
県産材利用量	19.69m ³
CO ₂ 固定量	13.1t-CO ₂



展示ロビー

カラマツフローリングは落ち着きます。



展示室内部

素足で歩くと木の温もりが伝わってきます。



緑にマッチした色合いのトイレ

当施設は、信州の鎌倉・塩田平の西端に位置しており、別所温泉駅から車で約10分の別所温泉森林公園内にあります。市内外から来園された観光客や利用者に木の温もりややすらぎを感じられる信州ならではの木材を利用したトイレとして好評です。森林公園は、キャンプ場、栗園等があり4月～11月上旬まで開園、特に秋には園内のお店でマツタケ料理が楽しめます。

DATA

竣工	平成23年5月
構造	木造平屋
主な使用樹種	アカマツ、カラマツ他 (梁・桁・内壁等：カラマツ材使用) (柱：スギ材使用) (土台：ヒノキ材使用)
階数	1階
建築面積	30m ²
延べ床面積	30m ²
全体木材使用量	12.78m ³
県産材利用量	12.78m ³
CO ₂ 固定量	7.8t-CO ₂



正面からの全景

周辺の森林に溶け込んでいます。



トイレの内部

落ちついた雰囲気が漂います。

施設用途

児童福祉施設等関連施設

施設名

滋野保育園



発見と感動の芽を育む活動拠点となる園舎

当施設は、国道18号線滋野地区と

浅間サンライン沿いの道の駅「雷電クルミの里」

ほぼ中間に位置し、東御市の「安心して生み育てられる街づくり」の理念のもと、
多様な保育ニーズに対応できるよう開設しました。

未来を担う子ども達の豊かな情操を養うため、

園舎の骨組みや内装には可能な限り滋野地区で生産された材を活用し、
木の温かみを感じられるようにしました。

DATA

竣工	平成25年3月
構造	木造平屋建て
主な使用樹種	カラマツ、スギ、ヒノキ 他 (梁・桁等：カラマツ集成材・無垢材使用) (母屋、小屋束等：スギ材使用) (土台・筋交い：ヒノキ材使用)
階数	1階
建築面積	1,499.61m ²
延べ床面積	1,286m ²
全体木材使用量	311.12m ³
県産材利用量	206.12m ³
CO ₂ 固定量	189.8t-CO ₂



遊戯室

明るい部屋は子ども達にも人気です。



廊下 日当たりのいい廊下に、地域材をふんだんに使いました。

設計会社 〒381-0012 長野県長野市柳原2360-4
(株)エーシーエ設計 TEL 026-296-8300

施工会社 〒389-0516 長野県東御市田中842
(株)宮下組東御支店 TEL 0268-64-4400

施設用途

児童福祉施設等関連施設

施設名

和保育園



風景と対話し子どもの心を育てる園舎

当施設は、東御市の北西に位置し、東御市の「安心して生み育てられる街づくり」の理念のもと、多様な保育ニーズに対応できるよう開設しました。未来を担う子ども達の豊かな情操を養うため、園舎の骨組みや内装には可能な限り地域で生産された材を活用し、木の温かみを感じられるようにしました。

DATA

竣工	平成26年3月
構造	木造平屋建て(一部鉄骨)
主な使用樹種	カラマツ、スギ、ヒノキ 他 (梁・桁・壁板等：カラマツ接着重ね梁、無垢材使用) (間柱、小屋筋交等：主にスギ材使用) (土台：ヒノキ材使用)(野地板：針葉樹合板)
階数	1階
建築面積	1,604.84m ²
延べ床面積	1,424m ²
全体木材使用量	252.00m ³
県産材利用量	206.80m ³
CO ₂ 固定量	153.7t-CO ₂



未満児室

小さな頃から木に触れることにより豊かな心を育みます。



キャノピー 雨天には園児の遊び場ともなります。

施設用途

児童福祉施設等関連施設

施設名

長和町ながと保育園



木造本来の温かみと安らぎと香を楽しむ園舎

当施設は、長和町長久保地籍の長和町長門庁舎北側に、地域の皆さんの意見が反映された施設として建設されました。太陽光、太陽熱など自然エネルギーの活用、地域産材を多く用いた木造本来の温かみと安らぎのある空間の中で子どもがいいきと育つ環境づくりをコンセプトに、多様化する保育ニーズに対応できる機能を兼ね備えた施設となっています。

DATA

竣工	平成26年10月
構造	木造1階
主な使用樹種	カラマツ、スギ、ヒノキ (梁、登梁、柱、間柱、針葉樹合板等：カラマツ集成材・無垢材使用) (丸柱、マグサ、柱等：スギ材使用) (土台、柱：ヒノキ使用)
階数	1階
建築面積	1,993m ²
延べ床面積	1,658m ²
全体木材使用量	438.28m ³
県産材利用量	388.67m ³
CO ₂ 固定量	267.3t-CO ₂



遊戯室

広く大きな空間、思いっきり遊べる室内廊下とテラスの間は全て木製サッシ。



絵本広場

落ち着いて本が読める静の空間。

設計会社
エーシーエ設計
〒381-0012
長野県長野市柳原2360-4
TEL 026-296-8300

施工会社
齋藤木材工業(株)・小林木材(株)特定建設工事共同企業体

〒386-0701
長野県長和町和田561
TEL 0268-88-2525

施設用途

社会福祉施設等関連施設

施設名

在宅総合支援センターみまきの家



増築と一部改築等により整備されたセンター

当施設は、東御市の旧北御牧村布下地区の「道の駅みまき」に隣接され、子どもからお年寄りまで「集」交流スペースの整備とデイサービス、ショートステイ等の「施設から在宅」への拠点施設として先駆的な役割を果たすため建設されました。

木のぬくもりや香りを感じられる施設を作ることにより、地域産木材に対する高評価が見込まれ木材利用の波及効果が期待できると考えています。

特に、開かれた施設として、地域交流スペースや足湯等を設置しています。

DATA

竣工	平成27年1月
構造	木・鉄コンクリート造、2階
主な使用樹種	ヒノキ、カラマツ、スギ (梁、桁、柱、壁板等：カラマツ集成材・無垢材使用) (間柱、マクサ、柱等：スギ材使用) (土台、大引き：ヒノキ)
階数	2階
建築面積	2,344m ²
延べ床面積	2,492m ²
全体木材使用量	318.04m ³
県産材利用量	193.17m ³
CO ₂ 固定量	194t-CO ₂



吹抜け交流ホール

大断面構造用集成材が見えるホールとしました。



居室前の廊下(ショートステイ棟)

のどかな一時を落着いて過ごせます。

施設用途

児童福祉施設等関連施設

施設名

田中保育園



さわやかな風と出会いの陽だまり園舎

当施設は、しなの鉄道田中駅の南西に位置し、東御市の「安心して生み育てられる街づくり」の理念のもと、多様な保育ニーズに対応できるよう開設しました。未来を担う子ども達の豊かな情操を養うため、園舎の骨組みや内装には可能な限り地域で生産された材を活用し、木の温かみを感じられるようにしました。

DATA

竣工	平成27年3月
構造	木造平屋建て
主な使用樹種	カラマツ、スギ、ヒノキ 他 (梁、桁、壁板等：主にカラマツ集成材・無垢材使用) (菅柱、束、母屋等：主にカラマツ材、スギ材使用) (土台：ヒノキ材使用)(野地合板：針葉樹合板)
階数	1階
建築面積	1,778.22m ²
延べ床面積	1,580m ²
全体木材使用量	404.68m ³
県産材利用量	284.78m ³
CO ₂ 固定量	246.9t-CO ₂



玄関

木材をふんだんに使うことにより木育につながっています。



遊戯室

骨組みを見せることにより地域材の良さを実感できます。

施設用途

児童福祉施設等関連施設

施設名

神科第一保育園

上
小

自然彩光を取り入れた明るい多目的ホール

当施設は、上信越自動車道上田菅平ICの西側に位置し、安全安心な子育て、保育環境の整備充実を図るため、県産材を使用し

「木材の温もり」「自然の大切さ」を園児、保護者、来園者をはじめ

多くの利用者に体感していただくとともに、森林の大切さや、

県産材に関心を持っていただく施設として建設されました。

使用部材の一部には上田市有林のカラマツ材や

敷地内で伐採されたサクラの木を使用しています。

DATA

竣工	平成27年3月
構造	木造平屋造
主な使用樹種	アカマツ、カラマツ、スギ、ヒノキ (梁、桁、壁板等：カラマツ集成材・無垢材使用) (母屋、垂木等：スギ材使用) (野地合板：針葉樹合板)
階数	1階
建築面積	1,468m ²
延べ床面積	1,248m ²
全体木材使用量	414.56m ³
県産材利用量	227.78m ³
CO ₂ 固定量	252.9t-CO ₂



玄関

木製サッシを使用(その他のサッシも木製)しました。



廊下：カラマツの梁現し

地元産カラマツに圧倒され感激します。